

HSK

こくわ通信

こくわの里友の会ニュース 190号

今月の創作活動では自画像を描きました！

苦戦しながらも上手に描けました！！



写真を撮りそれを見
ながら絵を描きまし
た！！柳瀬さんいい
顔ですね！！



自画像が終わり次の作品は

「スクラッチアート」に挑

戦中～！！

令和二年度を迎えて

新型コロナウイルスと闘いながらも共存し・・・

理事長 石田 ルミ江

岩見沢でも感染者クラスターが発生しました。その後、給食センターで感染者が出たりとひやひやしています。百年に一度といわれるこの流行がどんな次の社会的な変化をもたらすのか、小さなこくわという集団を守る一日一日が一つの新しい実践となるであろうと信じて、みんなで知恵を出し合い工夫を重ねています。

五月六月は法人として大切な理事会、評議員会開催の季節でもありましたが、感染予防のため書類審査で行うこととなり、初めての事態で戸惑いながら進めていきました。そんな中でも補正予算を組んで排水工事と通路の整備を行うことができます。

今年は新しい福祉法による評議員の人数のみなし期間が終わり、三名増やして合計七名としなければいけない時期でした。こくわの里が開設三十六周年、ホームランが五周年となるこの時期に役員を引き受けて下さった方と職員の顔合わせをしたいと考えていたので、残念なことでした。理事六名、監事二名、評議員七名、職員パートさん含め十六名という大所帯になりました。みんなが力を出し合えばすごいですね。その要としての責任をひしひし感じています。こくわ設立のねがい「なかが主人公」をコロナ禍でも守り抜いていこうと覚悟しつつ・・・

法人理事紹介

理事長 石田ルミ江（施設長兼務）

理事 高山松雄 吉田逸雄 瀬能昇 小倉和彦

前田繁範

評議員 小泉安司 菊池鉄男 西園真樹 戸田勝己

藤川誠一 山田美恵子 渡邊松伸

今回新しく加わっていただいた方をご紹介します。
理事 前田繁範さん 他法人の職員ですが、理事長の許可をいただきこくわ福祉会の一翼を担っていただきました。

豊富な経験を生かしてくださると思います。
評議員 戸田勝己さん 「あつ、あの戸田さん」とみんなわかるこくわの里で働いて下さった方です。上幌向町会の役員をなさっています。

藤川誠一さん 長い間振興局で勤務された方で豊富な底力を発揮してくださると思います。こくわの里で送迎をしばらく担当してくださいました。

渡邊松伸さん 障害関係、地域の福祉の相談役などたくさんのご経験をお持ちの方で、広い福祉の世界を教えてください。さることと思います。

山田美恵子さん 長く福祉の現場で働いてこられ、現在も現役でいらっしやいます。実践力で支えてくださると思います。コロナが収束、または共存の時期が訪れて役員と職員が一堂に会する日を心待ちしています。家族会やなかまのみんなとも顔あわせをしましょうね。楽しみです。

こくわの里農園

但木 美和子



今年はコロナウイルスの自粛で販売が行けないために、畑の当番をやりますと名乗りを上げました。畑起こしは上幌向の中間さんをお願いすると心よく来てくれて、五月十六日に一回目、二回目二十一日、三回目は三十日には細かく起こしてくれています。本当に感謝しかありません。苗ものを植える前に毎年カラスに苗ものをいたづらされていたので大まかな場所にテグスを貼り対策し、それでもカラスのいたづらに頭を悩ませています。六月一日にじゃが芋を植え、四日みんな黒豆を植えましたが、日照不足と水分不足でなかなか芽が出ない状態でした。(早く大きくなーれ)みんなの願いが届き、やっと一週間後に雨が降った次の日に芽が出ました！その後はとうきび・インゲンも芽が出てきました。



こくわの畑にはカラスが群がっています・・・。



納品の様子

苗ものにはマルチをするといいいよと戸田さんから寄付され、マルチ穴あけも貸してくれています。澤田さんからの寄付でトマト・スイカ・パプリカ・ししとういただきました。ありがとうございます。こくわの里の玄関前にはひまわりの苗・コスモスの苗を掃除に来てくれている尾田さんの寄付でいただきました。体操時に朝顔の成長が見られるようにお花も植えて見ました。



販売が思うようにできない今、賞味期限の近いクッキーは新篠津直売所・江別農産物で値引き商品コーナーを作ってくれて、販売してくれています。困っている時はお互いさまと優しい声掛け頂きました。7月からは新しく美流渡郵便局が増えました。ブドウの苗(ポートランド)実習生の藤沼君と植えました。ブドウの苗を買った場所で顔をいただき一緒に植えました。



実習生の藤沼君、森さんと一緒に穴を掘り頑張っています！！植えた場所はこくわの食堂から見える場所の畑に植えました！！

新しい職員紹介



伊藤奈津子と申します。私は明るく元気な性格なので、皆さんもつと仲良く楽しくお仕事ができたらいいなと思っています。一日でも早くお仕事を覚えて、なかまと色々なことをやっていきたいです。よろしくお願いします。



皆さん、初めまして！六月二十日からホームラの支援員として働く事になりました渡邊正敏です。なかまの皆さんと共に楽しく一日一日を充実させながら生活していきたいと思しますので、宜しくお願い致します。

事務局より

会費納入進んでいます。先月号で振込用紙を入れたところ続々と振り込まれてきました。ありがとうございます。積立金から借り入れて入り口から玄関まで砂利をしつかり敷き詰める工事を始めることができます。

役員会もコロナ感染予防のため中止になりました。長い友の会の歴史の中で初めての事です。マーケットも中止、秋の行事もどうなる事やらとんだか元氣が出てきません。

毎年6月号のこくわ通信は「マーケット」の楽しい記事で満載ですが、こちらの方もどんな記事で埋めようかと苦心しました。苦勞のほどご覧ください。でも何といつてもなかまや職員そろって元氣が何よりのこくわです！！

編集後記

今月号はこくわの里で育てている畑など納品の様子が記事になっています。まだまだコロナウイルスで思うように外出ができないですがステイホームでのリフレッシュは皆さん何されていますか？

(編集委員長 山根 彩美)

自宅近くで迷子の犬に遭遇、警察に連絡入れると飼い主が見つからないと保健所に行きますが良いですか？と言われてしまい、我が家で飼うのを覚悟の上、飼い主を探しました。近所を犬と散歩していた方に「あそこの犬だよ」と教えてもらい無事に飼い主のところへ帰り、ホッとした・・・。

(編集委員 但木 美和子)

緊張の毎日ですが、皆さんどんな毎日を送っているのでしょうか。友の会のなかまのみんなの顔を思い出します。こくわを生み育てて下さったみんなと会いたいなと・・・はやく落ち着いた日々が訪れますように。子どもたちがこの困難の中で何かつかみ取っていきますようにねがいます。

(編集委員 石田 ルミ江)

編集人 こくわの里 石田ルミ江

岩見沢市上幌向町一三六四番六

TEL/FAX 〇一二六―二四一七一八五

昭和四十八年一月十三日第三種郵便物承認(毎月十日発行)
発行日令和二年六月十日(一部五〇円、会費に含まれています)

H S K 通巻五七九号 H S K こくわ通信一九〇号
発行人 北海道障害者団体刊行物協会(H S K)